



寒い朝 1991年(平成3年)西川一平(前会長)

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第66期中間株主通信をお届けいたします。



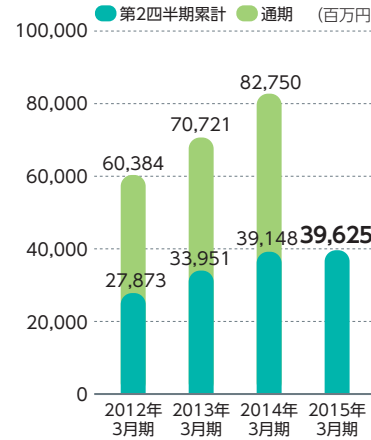
西川ゴム工業株式会社

## 財務ハイライト

### 売上高

39,625  
百万円

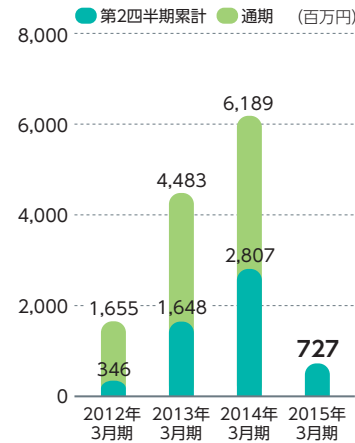
国内では消費税増税後の反動減があったものの、米国にて自動車用部品の売上が堅調であったことから、前年同期比1.2%増となりました。



### 四半期(当期)純利益

727  
百万円

前年同期比74.1%減となりました。



## セグメント別の業績

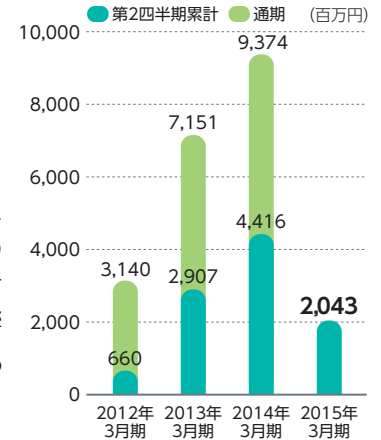
### 自動車用部品

米国の堅調な売上げに支えられ、売上高は372億37百万円(前年同期比1.2%増)となりましたが、米国における高操業に対応するための費用や新拠点の量産対応費用の増加等が影響し、営業利益は15億76百万円(前年同期比58.9%減)となりました。

### 経常利益

2,043  
百万円

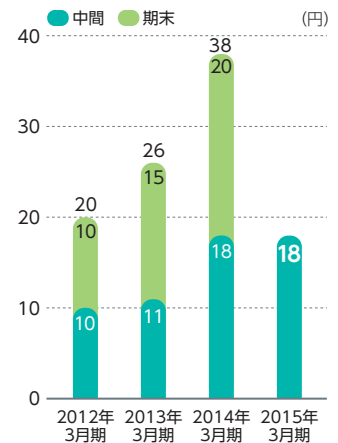
米国における高操業に対応する改善のための費用や新拠点の量産対応費用の増加等が影響し、前年同期比53.7%減となりました。



### 1株当たり配当金

18円

当期の中間配当は1株当たり18円とさせていただきます。



### 一般産業用資材

消費税増税後の反動減が見られたものの、グループ全体として売上高は23億88百万円(前年同期比1.9%増)となりましたが、事業分担の見直し等により増加した一時的費用が影響し、営業利益は1億87百万円(前年同期比39.3%減)となりました。

## おかげさまで、当社は今年12月で創立80周年を迎えます。 世界中のお客様に「快適」をお届けする企業グループを目指します。

Q 上半期の事業環境と業績について教えてください。

A 上半期を振り返りますと、わが国経済においては個人消費の低迷、円安による原料・燃料価格の上昇等が影響し、消費税増税後の落ち込みから回復できていない状況が続いております。

海外においては、米国経済の緩やかな景気拡大が続きましたが、特定地域における政情不安の継続等、一部景気下押しリスクがあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

自動車部品業界におきましては、国内では消費税増税後の反動減が顕在化し、需要の落ち込みが見られましたが、米国において需要が堅調に推移したことにより、全体としては前年を上回る結果となりました。

この結果、上期の連結売上高は396億25百万円(前年同期比1.2%増)となりました。利益については、米国における高操業に対応する改善のための費用の増加およびメキシコ・インドネシアの新拠点での量産対応費用が増加したことに加え、タイにおける生産台数減少による計画未達などが影響し、営業利益は17億63百万円(前年同期比57.5%減)、経常利益は20億43百万円(前年同期比53.7%減)、四半期純利益は7億27百万円(前年同期比74.1%減)となりました。

Q これからの西川ゴムが取り組むべき課題は何でしょうか。

A 今年度上半期において売上は堅調に拡大したものの、利益については昨年同期を大幅に下回る結果となりました。この状況を挽回し、株主の皆様の付託にお応えするために以下の施策を確実に実行し業績の向上を図る所存です。

国内事業におきましては、自動車用部品事業において引き続き受注拡大に努めつつ、新規品・新製品の開発力を強化し、自動車台当たり単価を向上させるとともに、一般産業資材事業においても住宅用目地ガasketの更なる拡販を推進し売上・利益を拡大させてまいります。

海外事業においては、新拠点でありますメキシコ合衆国のニシカワ・シーリング・システムズ・メキシコ(本年11月に名称変更)およびインドネシア共和国のニシカワ・カリヤ・インドネシアの経営安定化、および早期黒字化を達成するべくあらゆる施策を積極的に実行いたします。また、既存拠点の米国のニシカワ・グーパーにおいては、高操業度に対応できる体制を早期に整備する等、連結利益に貢献できる体制を構築してまいります。

なお、おかげさまで当社は今年12月で創立80周年を迎えます。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援、ご協力の賜物と心から感謝いたします。

これからも現状に満足することなく、卓越したシール(密封)&フォーム(発泡)エンジニアリングから生み出す製品・サービスを通じて、世界中のお客様に「快適」をお届けする企業グループを目指すことで、皆様のご期待にお応えする所存でございます。



代表取締役社長

西川 正洋



西川ゴムは広島の地でスポンジゴムの製造会社としてスタートし、戦後のモータリゼーションの流れの中で自動車用部品製造を基礎として事業を展開してまいりました。

現在は8カ国11拠点にわたり、世界中のお客様に「快適」をお届けする企業をめざしています。

## 創業

1934年12月、創業者である西川文二は、当時専務として在職していた田村工業株式会社ゴム部よりスポンジゴム部を独立し、現地に西川護謨工業所を創立。20~30人程度の規模で、主として輸出用のスポンジゴム雑貨を製造していました。

戦時中にはほとんどの従業員が出征し、人手や原材料が不足するなか、軍需用スポンジゴムの製造や人工ゴム溶解剤の開発を手がけていました。



朝礼を行う創業者・西川文二

## 復興と転換

1945年8月6日に投下された原子爆弾により工場が全焼するとともに多くの従業員も被災し、文字通りゼロからの再出発となりました。焼け跡から機器類を回収して修理し、設備が不完全ながらも半年後には生産を再開しました。

1949年4月には商号を西川ゴム工業株式会社と改称し、創業者の二男である西川一平が社長に就任。経済統制が徐々に緩和される中、当時需要の高かったスポンジ草履などの日用品を生産していました。1950年に勃発した朝鮮戦争をきっかけとした日本経済の重工業化の潮流に乗り、より規格を厳しく要求される工業用スポンジゴムの開発・生産に注力するようになりました。



1950年 三篠工場にて

## 発展とグローバル化

工業用スポンジゴム需要の大半を占めていた自動車産業は、日本におけるモータリゼーションの高まりに応じて急成長をとげました。当社は需要に対応するため、



ウエザーストリップ製造開始時の風景

1960年代から1970年代にかけ、営業所・出張所・工場・関係会社を次々と設立、事業展開を加速させました。

1981年には西川一平の実弟である西川公平が社長として就任し、1986年には米国スタンダードプロダクツとの間に合弁会社を設立させ、現在のグローバル化の礎を築きました。

その後急逝した西川公平に代わり、西川一平の長男である西川正洋が社長に就任しました。1991年に広島証券取引所(現東京証券取引所第2部)に株式を上場、その一方で成長の見込まれる新興国へ相次いで進出し、活路を切り開いてきました。

現在、米国・タイ・インド・英国・中国・メキシコ・インドネシアに拠点をおき、世界中のお客様に「快適」をお届けする企業をめざしています。

## Topics

### メキシコ現地法人、受注好調!生産規模を拡大へ

メキシコ合衆国現地法人「ニシカワ・シーリング・システムズ・メキシコ社」では、2013年9月の操業以来、ウエザーストリップ等の自動車用部品を生産しています。日系自動車メーカー各社からの受注が好調に推移していることに加え、新たに米国メーカーからの受注が決まったことから、早くも生産体制の増強を決定しました。

新たな計画では、総事業費約6億円を投じ、2015年5月に新棟(鉄骨平屋造り約9,000㎡)を建設します。これ

にともない従業員数を現在の約450名から650名程度まで増やす予定です。新棟建設により、既存棟では原材料の精練から押出までを担当し、新棟に仕上げと出荷を集約させることで生産の効率をさらに高めていきます。

稼働当初、約30億円であった2016年度売上高見込みが約45億円まで拡大し、さらに2017年度は約60億円と、急速な成長を見込んでいます。引き続き増産に向けた取り組みを着実にを行い、急増する需要に的確に応えていきます。



新棟完成予想図(左側)



建設中の新棟

## 連結財務諸表(要約)

### 連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当第2四半期末 2014年9月30日	前期末 2014年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	47,654	47,841
固定資産	50,316	45,606
<b>資産合計</b>	<b>97,971</b>	<b>93,447</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	26,991	24,902
固定負債	8,346	9,269
<b>負債合計</b>	<b>35,337</b>	<b>34,171</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	50,107	49,084
その他の包括利益累計額	9,680	7,205
少数株主持分	2,844	2,985
<b>純資産合計</b>	<b>62,633</b>	<b>59,275</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>97,971</b>	<b>93,447</b>

### 連結損益計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
売上高	39,625	39,148
売上総利益	7,190	8,718
営業利益	1,763	4,147
経常利益	2,043	4,416
税金等調整前四半期純利益	2,027	4,410
少数株主損益調整前四半期純利益	864	3,262
四半期純利益	727	2,807

### 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,139	4,795
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,679	△ 4,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	186	41
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	730	817
現金及び現金同等物の期首残高	17,369	15,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,100	16,329

## 会社概要・株式情報 (2014年9月30日現在)

### 会社概要

社名 西川ゴム工業株式会社  
 本社所在地 広島市西区三篠町二丁目2番8号  
 (TEL. 082-237-9371 代表)  
 設立 1949年(昭和24年)4月  
 資本金 33億6,448万660円  
 従業員数 1,340名

### 役員

代表取締役社長	西川 正洋	取締役	佐々木賢治
代表取締役副社長	山本 文治	取締役	内藤 真
専務取締役	児玉 照三	取締役	京本 敬二
常務取締役	福岡 美朝	取締役	小川 秀樹
常務取締役	片岡 伸和	常任監査役(常勤)	吉野 毅
取締役	西川 泰央	社外監査役	白井龍一郎
取締役	米山 昌一	社外監査役	大迫 唯志
取締役	丸目 義博		

### 株式の状況

発行可能株式総数……………48,343,000株  
 発行済株式の総数……………19,995,387株  
 株主数……………1,832名

### ●大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
西川正洋	2,433	12.43
株式会社ハイレックスコーポレーション	1,241	6.34
株式会社広島銀行	957	4.89
西川ゴム工業取引先持株会	935	4.78
西川泰央	748	3.82

(注)持株比率は、自己株式(416,348株)を控除して計算しております。

### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月開催  
 一単元の株式数 100株  
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 (特別口座の管理機関) 三井住友信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
 電話照会先 ☎ 0120-782-031  
 公告の方法 日本経済新聞に掲載する

## 上場株式等の配当等に係る 10%軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7% 住民税3%)は廃止され、**本来の税率である20%(所得税15% 住民税5%)となりました。**

また、2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が施行されており、その所得税額に対して2.1%が「復興特別所得税」として課税されています。そのため、株式等の配当等もその源泉所得税を徴収する際に「復興特別所得税」が併せて徴収されています。

### [上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率]

配当等の支払開始日	2014年1月1日～ 2037年12月31日	2038年1月1日～
上場株式等の配当等の税率	<b>20.315%</b>	<b>20%</b>
内訳	所得税 15% + 復興特別所得税 0.315%	内訳 所得税 15%
	住民税 5%	住民税 5%

- 配当金等のお受け取り方法が株式数比例配分方式の場合の税額等につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。
- 配当等をお受け取りになる方が法人の場合には、住民税は課税されません。
- その他詳細につきましては、所轄の税務署へご確認ください。
- 上記の内容は、2014年1月時点の情報をもとに作成しています。

### 西川ゴム工業ホームページ

当ホームページでは最新の財務情報のほか、会社情報、製品紹介、技術紹介など当社を深くご理解いただくため様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。



<http://www.nishikawa-rbr.co.jp/>

